



にしついの まさひろ

昭和38年文部省文化財保護委員会無形文化課文部技官、昭和41年国立劇場芸能部制作室演出室主査、平成7年日本芸術文化振興会国立劇場芸能部長、平成9年日本大学芸術学研究科非常勤講師、平成10年実践女子大学文学部教授、平成15年NPO法人邦楽指導者ネットワーク21副代表、平成16年国立劇場おきなわ運営財団理事。

## 新年のご挨拶

今年も盛り上がりをも！

副代表 西角井正大

新年明けましておめでとうございます。

年の幕開けに琴や尺八の音を聴くと、年があらたまったことを実感し、心が自ずと正座するような気分になって、さあ今年も遣るぞと元氣も湧いてきます。昨年も会員の皆様に色いろの活動のご報告をいただき有難うございました。

近年は NPO 法人の法的規約の一部改正があったようで、運営の仕方にまだ勉強の余地が残っていて皆様にご迷惑が掛かっているのではないかと心配していますが、今年も初心を忘れずに貫いて、我が法人を盛り上げて行きましょう。

さて先の 25 号で、第 21 代雄略天皇が吉野に行幸された時、気に入って寵愛した嬢子(おとめ)に自ら琴を弾いて舞を舞わしめたと云う逸話を書きましたが、この天皇にはまだ琴が纏わる別な逸話がありますのでご紹介します。

天皇が鬮鷄御田(つけのみた)と云う大工に楼閣(たかどの)を造らせたところ、出来上がった楼閣に登って四方八方に飛ぶように走り回っているのを下から見とれていた宮中の奥深く仕える采女(うねめ)が、うっかり捧げ持っていた天皇の御膳をひっくり返してしまったのです。天皇はこの大工と采女の仲を疑い、大工を捕らえて刑吏に引渡したのですが、そのとき天皇の側近く仕える秦酒公(はだのさけのきみ)と云う者が、琴を弾いて歌を歌い天皇に過ちを悟らせたと云う逸話です。『日本書紀』は「天皇、琴の声を悟りたまひて、其の罪を赦したまふ」と締め括っています。

琴の力は凄いですね。この逸話にもう1つ注目すべきことが書かれています。「琴を横たえて弾きて」とあることです。吉野での場合は胡坐(あぐら)に載せて弾かれていたようですが、この時代には床に据えて弾くようにもなっています。また天皇でなく臣下の者が弾いていることも新発見です。琴が大型に進化し、普及してきていたことも窺えます。

## 第 12 回合奏合宿 in 潮来のお知らせ

ゲスト 尺八演奏家 宮田耕八朗氏を迎えて

●日 時 平成 28 年 5 月 28 日 (土) ~ 5 月 29 日 (日)

●合宿会場 潮来ホテル 茨城県潮来市あやめ 1-10-7 TEL 0299-62-3139

### 全体講習曲

宮田耕八朗作曲・編曲  
①「長浜のにぎわい」  
②「合奏六段」

### 選択曲(1曲を選択)

①「唐臼のある風景」  
②「じょんがら」  
③「甘樫の丘にて」④「五月のうた」

### コンサート

①宮田耕八朗リサイタル  
②参加者によるコンサート

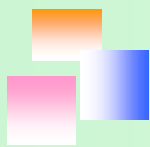
●参加費 (1泊2日4食付き)

一般	37,000円	会員&大学生	34,000円	中高生	32,500円
小学生	23,500円	日帰り・聴講生	25,000円	同伴ご家族特別割引	15,000円

## 当会会員、松崎妙子さん山口文化功労賞受賞！

下関市を中心に活動され、平成24年には箏友会創立20周年記念演奏会を開き、また子供教室開催や小学校訪問など、山口県内における長年にわたる伝統文化普及活動が評価され山口文化功労賞を受賞されました。心からのお祝いと今後の更なるご活躍をお祈り申し上げます。





# インタビュー特集

## 尺八演奏家 宮田耕八朗先生



■ この世界で常に第一線で活動されている宮田先生ですが、その心意気は？

---邦楽の世界を明るくしたい。

流派を超えた交流は邦楽界を明るくする第一歩。私は50年も前から、いわゆる秘伝というものを公開し、思い切った技術革新をやってきたつもりですし、私の他にも様々な工夫をし、邦楽界の前進に力をつくして来られた方々が居られます。そして今後もあらわれる事を信じています。

■ NPO法人邦楽指導者ネットワーク21の中心の事業である「合奏講習会」に今回やっとお受けくださったその理由は？

---私の方針でお任せいただけるならーとお引き受けしました。このNPOが誠実な団体なのかしらーと疑問がありましたし、合宿は船頭が多くて統一した方針があるのかという疑問もありましたので、行方の定まらないまま歯車のひとつになるのはご免で、全てをお任せいただける条件でお受けしました。

それに石森先生の素晴らしい発明である「中柱」をきちんと評価し、もっと使うべきだと主張したいこともあります。実は「中柱」の評価については石森先生と私とでは少々違いがあるようなのですが、それは一寸置いて、六段の調べで皆様に実感していただきましょう。

■ 邦楽にムーブメントを引き起こすためには？

---古曲とは？新曲とは？生きた音楽を。

近年の作品だけによるコンサートが普通に開かれる時代になりました。が時に、江戸時代の作品を1曲入れたリサイタルがあります。「どうして？」と尋ねますと「古曲ができないと思われたくないから」ですって。で、その古曲って歌があるものですから「何を歌ってますか？」と尋ねると「エーッ？」と絶句。

「歌詞を言ってみてください。」と言うと最初のひと言で、、、おしまい。暗譜して舞台をつとめているけど、聞いていて最初から最後までひと言もわからない。要するに不真面目なんですね。こういう人はコンサート後、打ち上げのカラオケで水を得た魚のように生き生きと歌います。歌は好きらしい。さっきのコンサートでは音楽の喜びが無かったのでカラオケで憂さを晴らす悲しい人なのでしょう。

八橋(1614~1685)の活躍以来200年余りの江戸時代にできた一般に古曲と言われている地唄・箏曲は200年の間に作風が随分変化してきましたし、聞く人をワクワクさせたり、涙をしばったり、ニヤッとさせたりした、その時代時代の現代音楽でした。

自分の声と弾く音色に合い、是非この想いをうったえたいと思える曲を自分のレパートリーとして、解る言葉で歌えば、きっと聞く人々に伝わるでしょう。古典新曲も区別はありません。

(聞き手:門傳、渡辺(正))

### ■□■ プロフィール ■□■

1938年 東京に生まれる。

1955年 尺八を始める。流派に属さず独自の技法を開拓。

1962年 村岡実・横山勝也と東京尺八三重奏団を結成。

1964年 東京尺八三重奏団が母体となって伝統音楽の発展的継承と新しい日本音楽の創造を目指して日本音楽集団を結成。

#### ■ 海外公演

■ 1967年 外務省派遣文化使節の一員として、カナダ、アメリカ、メキシコを巡演。

■ 1972年 この年より始まった日本音楽集団の数次にわたる海外公演(及び国内各地の公演)にコンサートマスター及びソリストとして参加。

■ 1976年 カーネギー大ホールに於いて自作の「鶴の巣ごもり」の演奏が好評を博し、ニューヨークのノンサッチレコード社より尺八本曲のレコードを発売。90年代にCDになり更に売上げが伸びている。1981年 ユーゴスラヴィアのザグレブ音楽祭に客演として参加。

■ 1993年 国際交流基金派遣文化使節として宮田耕八朗室内楽団をひきいてブカレスト、プラチスラバ・プラハ・モスクワに於いて自作のプログラムによる演奏、そして音楽大学に於いて講演。

#### ■ 教育

1975年~1992年 東京音楽大学講師を勤める。

1984年~毎夏、合奏研究会を主催し流派を超えて全国の尺八・箏・三絃の教授者・愛好者を集め交流と向上を図る。

■ 教材制作 1972年「日本の楽器入門」レコードの管楽器編。(コロムビア)1973年「尺八の演奏法」レコード。(ビクター) 1987年 尺八リコーダー練習曲集。1990年 三味線が好きになる練習曲。2014年 琴・三絃・尺八の常識講座(邦楽ジャーナル)。

■ 現在 日本音楽集団幹部団員。全国的に演奏(尺八教授、講習等)を行い、作品も広く愛好されている。

### ■□■ 作品 ■□■

1973年~鶴の巣ごもりその他尺八の小品数曲。1978年 ヨーロッパ公演に際し各国の田園風景に接し日本の減反の状況を憂いて「みずほのうた」(尺八・20絃箏)を発表。以後「キビタキの森」「矢部の郷」「田毎の月」など農業および生命の讃歌を主題とした作品を数多く発表している。

# = ザッツ・虎の巻 = 十七絃箏の弾き方のポイント



宮越圭子先生

今回は十七絃の弾き方のポイントを日本音楽集団団員で日本を代表する十七絃奏者の宮越圭子先生にお伺いしました。

**Tips 1 反発に耐える** 17絃の弾き方は、最初は、爪を糸に当て、押し込んで、糸の反発に耐えながらゆっくり弾く感じです。この「反発に耐える」ことが重要で、耐え方が足りなかったり、又弾くスピードが速すぎたりすると17絃は鳴ってくれません。

**Tips 2 管楽器奏者の気分で！** 一音一音をつなげるように、音符と音符の間で音ののびているような気持ちで弾きましょう（管楽器奏者になった気分で）。但し速いテンポの時は、指の芯の力を抜かないようにしながら素早く動いて下さい。

**Tips 3 気持ちと糸との一体化** もう一つ、弾く瞬間、音の出るまさにその時に、糸と爪の接点に全神経を集中して「いい音になれ」という気持ちを送りこむこと。精神論のようですが、気持ちと糸との一体化が音楽作りにはとても大切ですので、試してみてください。

**Tips 4 爪のメンテナンス** 又17絃はジャリっという雑音が出やすいので、爪のメンテナンスも大切です。爪の両端や先端の切り口の磨きが不完全だと雑音が出やすいのですが、その場合、目の細かいサンドペーパー（1500番～2000番）で切り口を丁寧に磨いてみて下さい。糸に当たる面の角も少し丸くしておくこと、細かい爪使いがしやすくなります。

**Tips 5 攻めのテンポ感！** 17絃はアンサンブルで弾く場面が多いと思いますが、音の立ち上がりが遅いので、周りに「合わせて」弾いていると遅れて聴こえます。攻めのテンポ感を持って弾いて下さい。

## 一地域の風 from 狛江 箏曲正音会

狛江市制施行45周年記念事業「こまえスペシャルイベント」が平成27年10月3日に狛江エコルマホールで開催されました。

スペシャルゲストに子役タレントの鈴木福くん・夢ちゃんをお迎えし、市内在中のバイオリニスト三木希生子氏、箏曲家渡辺正子氏、司会進行榎原徹氏とでコンサートを盛り上げました。また、市内の小学生・狛江子ども箏合奏団・狛江高校生・狛江高校箏曲部OGの総勢97名が着物を纏い、華やかに舞台を飾りました。



市制45周年記念事業は、約一年前から狛江市実行委員会により計画され、この日の演奏のために市内の小学生に募集したところ、約60名の参加申込みがあり、正音会により5月より週一回の練習活動を行ってきました。

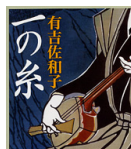
コンサートでは大人気のテレビアニメソング「妖怪ウォッチ ようかい体操第一」とドラマ主題歌「マル・マル・モリ・モリ！」を披露し、小学生が鈴木福くん夢ちゃんとの共演を果たしました。また、狛江市の作曲家三木稔氏作曲「秋の曲」をバイオリンと20絃箏のデュオで、狛江高校生とOGのコラボ演奏「糸のためのコンチェルト」などのラインナップで、聴衆を魅了しました。最後のステージでは出演者全員による狛江市歌「水と緑のまち」の演奏と合唱で市制45周年を彩るコンサートになりました。

渡辺先生は、狛江市や多くの子ども達たちにお箏が根付く活動にご尽力されています。子ども達の活躍が益々楽しい箏曲正音会の今後に大注目ですね！！

★東京都の箏曲正音会は渡辺正子先生ご指導のもと、幼稚園から小中高生、さらに70代まで様々な世代の会員が活動しています。

## 書籍紹介 これ、知ってる？

「一の糸」 有吉佐和子 著



今回ご紹介するのは三味線の「一の糸」が題名の小説で、文楽の三味線奏者である男の三味線の音色に魅せられた妻の目を通して描かれた物語です。

会員の皆様はご存知かと思いますが、一の糸とは三味線の三本の糸の中で最も太い糸のことです。まだほとんど痛みのない一の糸を惜しげもなく捨ててしまう夫・徳兵衛に驚く妻・茜に対し、徳兵衛は一の糸の大切さについて語ります。「三の糸が切れたら、二の糸で代わって弾ける。二の糸が切れても一の糸で二の音を出せる。そやけども、一の糸が切れた時は、三味線弾きはその場で舌を噛んで死ななならんのだや」。

大正から戦後にかけて芸道一筋に生きる男と愛に生きる女を描く波瀾万丈の一代記です。

## ホープ！ この人に注目！

風間禅寿君 平成尺八塾  
東京藝術大学音楽学部邦楽科尺八専攻一



合宿講習会でお琴屋さんと共に裏方としてサポートしてくれた風間禅寿君に注目です。

『皆様のお陰で東京藝術大学に進学ができました。大学では古典、本曲を重点的に同級生と切磋琢磨しながら学んでおります。今後は演奏活動だけでなく、邦楽器を取り入れた作曲を試みたいと考えています。まだまだ未熟ではありますが応援よろしくお願ひします。』

藝大で尺八の音色に磨きをかける風間君の今後の活躍が楽しみです。応援していきましょう。

# “カミソリ田村”という話 代表理事 田村拓男

1964年と言えば東京オリンピックが開催された年。こちらは“日本音楽集団”という団体が生まれようとしていた頃の話。11月17日の日比谷第一生命ホールで最初の演奏会開催を目指して伊勢原市大山で合宿を試みていた。それこそ流派・家元制を超え新しい現代邦楽の創造を目指そうと意気揚々。万国共通の楽譜(五線譜)への挑戦、指揮を見る、ピッチ、バランス、等々、メンバーにとっては慣れないことだらけ。

私はと言えば、当時東フィルのメンバーでもあり、N響や日フィルなどの助演も頼まれたりしていたので、邦楽のアンサンブルについてはお手並み拝見という姿勢。

すぐ前で弾く三味線杉浦弘和さん(故人)の三味線が小気味よく格好が良い。私が後ろから感想を述べたのが良くなかった(悪い性分だ…)。「ブーちゃん(杉浦さんのニックネーム)そこ遅れるよ! ピッチが高いわ!…」等など。それ以降私のいないところで「カミソリタムラ」と言いまわっていたらしい。名付け親はブーちゃんだ。

## 羽田野歌子の思い出ポケットから Vol.2 ディレクター?プロデューサー?

よく、私の肩書を元プロデューサーと紹介されることがあります。正確に言えば、私はディレクターでした。NHKでは、略してPDと言います。プログラムディレクターの略です。その中でチーフ・ディレクターとして仕事をしておりました。

ではどこが違うのか。プロデューサー(CP)の仕事は、お金と人事の管理をすることで、ディレクターが実際に番組の制作にあたります。なんだ、そんなことか、と思われるでしょうが、だいぶ業務内容が異なります。実際の現場では、ディレクターの人数が圧倒的に多くおります。ある分野の番組群を担当する制作者グループをまとめるのが、CPなのです。

CPは、予算と人事権を持っているのですから立場から言えば管理職に当たります。一般の企業では課長、と考えればわかりやすいでしょう。

番組のロケで、地方に伺うと、カメラマンや音声技術を伴い仕事をしますが、よく「あなたはアナウンサーかね?」と、聞かれたものです。それは私が女性だったからかもしれません。

新人の頃は、放送現場は女性が本当に少なく、同じフロアにいる女性PDの顔はすぐに覚えたものです。放送センターの8階には、ドラマ部と、演芸番組部(歌謡番組、落語、バラエティなど)それに子どもの古典芸能番組部がありました。その中で女性PDは、8人ほどしかおりませんでした。ディレクターのごとは、年上の男性たちをまとめていろいろと、指示しなくてはなりません。「だから女は、…」と、言われぬように常に、背伸びをしながらときに歯を食いしばって仕事をしました。男女雇用機会均等法が成立してからは、文字通り男女同一の労働条件になり、女性の採用も飛躍的に増えたのです。後輩の女性達から、「いま、私たちが働けるのも羽田野さんたち先輩女性のおかげです。」と言われて、報われたような嬉しい気持ちになりました。

## 第11回通常総会 平成27年6月20日(金) ハートピア熱海 会議室

平成26年度決算報告

平成26年度寄付金明細

自 H26. 4. 1～至 H27. 3. 31			
[経常収入の部]		[経常支出の部]	
科目	決算額	科目	決算額
会費収入	1,096,000	事業費	3,767,492
事業収入	3,747,494	管理費	1,561,317
寄付収入	38,724	当期収支差額	△446,331
雑費収入	260		
経常収入合計	4,882,478	経常支出合計	4,882,478

後藤礼子	10,500
合宿講習会参加者	28,224
寄付金合計	38,724



### ♪ 会員ご紹介 ♪

沖繩 峰の会 下地華峰、咲峰の会 伊良波 咲峰 **熊本** 熊本お琴教室 古川郁代、アンサンブル渡里夢 渡雪美 **福岡** 知啓会 東島啓子 **山口** 箏友会 松崎妙子 **広島** いちえの会 沖田寛江 **愛媛** 鶴鳳会 向井正次郎 **兵庫** 箏曲柳の会 鈴木晴椰 **大阪** 箏糸会 今村慶子、**愛知** 箏曲明由の会 山本明由子、彩楓會 佐藤友相 **静岡** 箏曲妙の会 佐野妙子 **神奈川** 宮城野楽器店 白澤功 **東京** 箏曲正音会 渡辺正子、平成尺八塾 門傳良男、箏曲あさの会 望月亜紗子、桑都の会 小林千恵子、邦友会琴音楽教室 石森康雄、琴音楽合奏団 石森康雄、みな会の会 原田眞樹子、夏音会 小笠原夏美、音輪の会 駒井孝子、夢の会 田代せつ子、箏曲恭音会 坂本恭子、明鏡和楽器 渡辺譲、千代田第一工業(株) 会長鈴木達雄 **埼玉** 日本文化体験の会 戸塚順子、(学)小牧幼稚園 小林牧江、(株)サトウ楽器 佐藤松夫 **山梨** 山形屋琴三絃店 日原仁 **長野** (有)琴光堂和楽器店 代表 中島昌之 **新潟** 理音会 高橋理香、箏曲翔の会 坂田翔祐 **福島** 桐音会 後藤礼子 **山形** 彩音会 菅原綾子、スミ井邦楽器店 墨井富士男

### ♪ 新会員ご紹介 ♪

- ①正会員 牧原伸一郎・田代せつ子・山本明由子・望月亜紗子・坂田翔祐・石田敦子・滝内見知子
- ②支援会員 福島竹峰・原 さとみ
- ③支援団体 野々島民謡教室(熊本県) 三鈴会(山梨県)

♪編集後記♪ ★今回の号で宮田先生にインタビューをいたしましたが、結局先生に原稿をいただくことになりました。先生にはお忙しいところお手数をお掛けいたしました。(よ) ★邦楽人口が減っている! 楽器屋さんが潰れている! などの話をあちこちで耳にしますが、一方でコンクールや高校・大学などで学生たちが無心にお箏に打ち込んでいる姿も目にします。私たちの事務局スタッフも微力ではありますが様々なイベントを企画し発信したいと思います。(ま) ★記事やブログなど皆さんの活動に刺激を受けております。邦楽ネットのブログも活性化していくようにの投稿もどンドンお待ちしております(も)

各地での演奏会参加情報や活動の様子をお送りください。ブログ・Facebookにてお知らせさせていただきます。

ブログ: <http://ameblo.jp/hougakunet/>

Facebook: <https://www.facebook.com/hougakunet.pr>

お問い合わせ NPO 法人邦楽指導者ネットワーク 21

事務局 TEL・FAX 03-5771-8128 [hougakunet.pr@gmail.com](mailto:hougakunet.pr@gmail.com)